

鎌ヶ谷市女性防火クラブ 連絡協議会

千葉県鎌ヶ谷市女性防火クラブ連絡協議会

鎌ヶ谷市女性防火クラブ連絡協議会は、昭和55年4月に市内3団体の婦人防火クラブで組織され、安全な街づくり目指して地域における防火・防災のリーダーとして地域住民から厚い信頼を受け、現在82名で活動しています。

主な活動としては、地域の防災訓練や消防関係行事において、家庭内における火災予防を啓発するとともに、消火器の取り扱い指導を行うほか、春・秋の火災予防運動では、住宅用火災警報器や感震ブレーカーの設置普及活動を行っています。このほか、防災施設等への視察研修や救命講習を受講するなど、防火防災に関する正しい知識の習得に努めています。

また、平成16年10月に発生した新潟県中越地震、平成23年3月に発生した東日本大震災、平成28年4月に発生した熊本地震では、クラブ員に支援活動を呼びかけ、一般財団法人日本防火・防災協会と連携し、被災地の女性防火クラブに被災者支援活動支援金を贈る等、防災に対する幅広い活動を行っています。



西山東地区防災会

和歌山県和歌山市西山東地区防災会
会長 松井 大明



和歌山市西山東地区防災会は、平成10年に活動を開始し、平成24年6月に大規模な浸水被害が発生したことから、当該地区において地震、風水害等による被害を最小限に抑えるため、多くの取組や議論を経て、平成28年4月に民生児童委員、消防団、自治会など様々な立場の方から幅広く意見が出されるような自主防災組織に見直しを行いました。

新たな防災会では、西山東地区の「防災・減災マニュアル」「要援護者マップ」等を作成するとともに、地元小学校と協働し「こどもたちの目線で作る防災マップ」の作成や、地元中学校の有志とともに、高齢者等避難に支援を要する方を対象とした避難誘導訓練を実施するなど、未来の防災リーダー育成にも取り組んでいます。また、防災会を構成する自治会単位で詳細な「避難マニュアル」の作成や防災訓練を行っています。

平成29年台風21号により、同地区に避難所が開設された際には、平常時の活動を活かし、受入、入所相談、飲食物の配付などを行いました。

台風が去った翌日には災害ボランティアを結成し、浸水被害に遭われた高齢者世帯を中心に後片付けなどの活動を行いました。

近年はコロナ禍の影響もあり思うような活動ができていませんが、今後も、子供から高齢者まで地域が一体となり防災活動に取り組み、広く地区内に防災意識を浸透させる取り組みを続けていきたいと考えています。

